

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社天満屋ストア
ポートプラザ店

(2) 事業所の所在地

福山市入船町3丁目1番25号

(3) 業種

百貨店, 総合スーパー

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成20年度を基準年度とし、平成29年から平成32年度までの4年間とする。

3 計画の基本的な方向

- テレワーク監視機器監視等より「見える化」を行い、従業員の電力使用に関する意識の高揚・共有化。
- 店舗照明の点灯・消灯時間、空調機の温度設定の運用ルールを定め省エネ取組の実施。
- 照明設備のLED化、冷凍・冷蔵設備の更新時省エネ機を導入。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度 平成20年度	直近年度 平成29年度
二酸化炭素	5,826	2,811

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF ₆ NF ₃)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成20年度)		削減目標		目標年度 (平成32年度)	
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)		
エネルギー起源CO ₂	5,826	53.4	3,113	2,713		
非エネルギー起源CO ₂						
メタン						
一酸化二窒素						
その他 温室効果ガス						
温室効果ガス 実排出量総計						
温室効果ガス みなし排出量						
目標設定の考え方						

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位置量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)							
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	30年度対比98%	冷凍・冷蔵設備の更新時高効率機器へ
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

<ul style="list-style-type: none"> - 冷凍・冷蔵設備等の計画的更新。 - 店舗照明の点灯、消灯時間、空調機の温度設定の運用ルールに沿った省エネを継続実施。 - デマンド監視機器等により「見える化」を行い検証する。

(2) 実施状況の点検・評価

(3) 計画書等の公表

100

○

○